

かながわ発、私のアクション宣言



はじめよう！一人ひとりのアクション

神奈川県は2018年に「かながわプラごみゼロ宣言」を掲げ、海のプラスチックごみ問題の解決に向けた取り組みを全国で先駆けて始めました。現在、その輪は企業や研究機関に広がっています。しかし、ごみ問題の解決にはそれだけでなく、私たち一人ひとりの行動も欠かせません。そこで、ここでは皆さんの「かながわ発、私のアクション宣言」を考えてほしいと思います。生活の中でできる工夫や意識の変化が、未来の海を守る力になります。次に紹介するのは、ごみ問題に立ち向かう人々がどのように行動を起こしたのか、その思いやきっかけについてです。仲間たちの実例を知ること、皆さん自身の宣言を形にするヒントが得られるはずです。



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県

好きなことを通じて広げる「湘南国際マラソン」

湘南国際マラソンは、フルマラソンでは世界で初めて「コース上の使い捨てカップ・ペットボトル排出ゼロ」を実現した「環境配慮型のマイカップ・マイボトルマラソン」です。

この取り組みの導入前後を比べると、使い捨て紙カップ等のごみ約8トン、ペットボトル約17万本分の削減につながりました。自身が好きなスポーツをしながら、環境負荷の低減に貢献するという事例です。

▼湘南国際マラソンの様子



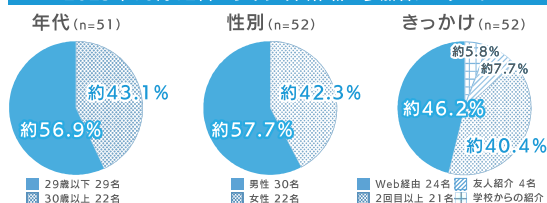
▼マイボトルに給水する様子



クリーン活動の新しい形「海さくら」「湘南ウキブイ」

神奈川県内にもクリーン活動に取り組む団体は様々ありますが、NPO法人海さくらは、「目指せ！日本一楽しいごみ拾い！」をモットーにアーティストやスポーツ選手を呼んだイベントを定期的に開催しています。海さくらは、清掃以外の体験的な要素を掛け合わせることで、人々の参加意欲や環境問題への関心を高めているのです。

2025年10月12日 ウキブイ大作戦 参加者アンケート



▲出典：海岸清掃団体 湘南ウキブイ「ウキブイ大作戦 vol.239 (紅葉の掛け旗)」
活動報告：https://www.ukibui.com/?p=21315 (2025-11-01)

参考Webサイト

きれいな海は守れない。「日本一楽しいごみ拾い」に取り組むNPO代表の哲学

▶ **ここをクリック!**

または p.10 の一覧表を参照

「海ごみネイル」に込められた思い

車いすで入店を断られた経験をきっかけに、「誰もがおしゃれを楽しめる場所をつくりたい」と茅ヶ崎でバリアフリー対応のネイルサロンを開業した有本奈緒美さん。砂浜での清掃活動を通じて、多くのプラスチックごみに衝撃を受け、「このごみを美しく生まれ変わらせたい」との思いから「海ごみネイル®」を考案しました。拾ったプラスチックを洗浄・加工し、ネイルチップのパーツとして再利用。売上の一部はビーチクリーン団体に寄付し、環境保全と社会参加をつなぐ新しいサステナブルな活動として注目を集めています。

▶ **ワークシート** タスク 01-02

インタビュー動画

Plumeria Nail
有本 奈緒美 さん

▶ **ここをクリック!**

または p.10 の一覧表を参照